

2014年度ピースセミナー開催報告

あなたの大切なものを守るために

日本から世界へ核廃絶への祈りを伝えよう!

日時 2014年11月15日(土) 10:30~12:30

講師 スティーブン・リーパー氏(平和活動家)

会場 東京都生協連会館 3階

参加人数 62名

主催 東京都生協連 平和活動担当者連絡会



東京都生協連
竹内専務



当日の流れ

- 10:30~10:35 あいさつ 竹内 誠(東京都生協連専務理事)
- 10:35~11:30 講演 スティーブン・リーパーさん
- 11:30~12:00 質疑応答
- 12:00~12:25 NPT再検討会議に向けて 日本生協連より
- 12:25~12:30 まとめ 閉会



司会 奥山佐和子さん
東都生協理事

今年のピースセミナーは2015年開催のNPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて核兵器廃絶の思いを共有し取り組みへの機運を高めるため、前広島平和文化センター理事長のステイブン・リーパーさんをお迎えして講演会を行いました。核兵器禁止条約の締結の重要性を訴え、日本人と生協組合員への期待が語られました。その後日本生協連の山田さんより、生協と平和活動、そして核兵器のない世界をめざして私たちができる取り組みについてお話いただきました。リーパーさんのお話と合わせてNPT再検討会議を理解し、核兵器廃絶へ向けて私たちができることを考え合いました。



講演 スティーブン・リーパー氏

戦争文化から平和文化へ

今の世界は数人が喜び、その他大勢が苦しむ戦争文化の時代である。広がる貧富の差をなくすためにも一番先にすべきことが核兵器廃絶である。本来一番大切な課題は地球を守るために温暖化を抑え海を守ることであるが、そこへすすむためにもまずしなければならないのが核廃絶であり、これは核兵器の問題ではなく、人類の意識の問題である。そしてこれは世界が直面している深刻な問題の中で実は一番簡単に解決できる問題なのである。人類の意識を高めて、戦争文化を卒業して平和文化へ移行していかなければならない。

核廃絶への動き

NPT(核不拡散条約)は最も多くの国が加盟している核兵器をコントロールする唯一の条約で5年ごとに再検討される。2005年の会議は失敗に終わったが、オバマ大統領のプラハ演説を受け2010年には各国より廃絶したいという演説が相次いだ。しかしオバマの約束も不確定であいまいなものだったためその先へは進めなかった。

2010年平和首長会議をきっかけに保有国がど

うであれ核兵器を禁じようという動きが始まり、いろいろな人が動き始め、赤十字も強い宣言を出した。2012年の準備委員会でスイスとノルウェーが核兵器のあらゆる状況での使用禁止と条約や国際法で禁じるべきとの宣言を出し、保有国に立ち向かった。この宣言を支持する国は増えていき日本も2013年にサインした。その後多くの反核運動家(普通の人)も参加したオスロ会議を経て、核使用後の世界と人類への影響の話がなされ、2回目のナジャリット会議では140以上の国が賛同した。だが廃絶のための条約や国際法の話には至っていない。

条約の力・生協の力

力を持つ核産業を変えられるのは普通の人々の力であり、エリートでない普通の人々の意識を高めていきたいと思う。それには条約が必要である。対人地雷禁止条約の例からもわかる通り、条約ができればキャンペーンを展開し核廃絶が話題にならない保有国も含めて多くの人に知らせることができる。日本は人類がまず解決しなければならない核廃絶の先頭に立って平和文化のリーダーになってほしいと思う。それには問題解決ができる平和リーダーを選ぶことが重要である。それが平和文化そのものの生協にはできるのではないかと考えている。

質疑応答より

Q. 核兵器廃絶のためには原発の廃炉をまずしなければならないのではないですか？

A. もちろん原発反対だが、まず核兵器廃絶を目指すべき。こちらの方が理解を得られやすい。核兵器を無くさないと原発もなくなる。原発の本当の意味は核兵器を作るためだから。核兵器が無くなれば原発も要らなくなる。核廃絶が一番望みのある運動だと思う。

Q. 核賛同者は武器商人の力を後押ししているのか？利益のためか？

A. そうです。核施設に近い立場の人たちがオバマのプラハ演説も批判し、核産業から生まれる利益を守るために、ロシアや中国に攻められないため平和のためだと言って核を造り売っている。しかしその先にあるのが人類の滅亡だと分かっている。意識転換が必要。日本は経済、社会、政治、文化において力がある。ヒロシマ・ナガサキ・フクシマの国が核兵器廃絶の先頭に立てば世界のヒーローになれる。

Q. 核兵器は原発から作られる武器だと思うが、ヒロシマ・ナガサキ・フクシマを重ね合わせる活動が大事ではないかと思うのですが。

A. フクシマを危ないと思う人は世界で増えている。フクシマを解決しないと日本は不信感を持たれる。本当のことは見せる国になり、核兵器と原発の解決に真摯に取り組んでほしい。そのテーマで書いた『日本が世界を救う』を読んでほしい。



会場でリーパーさんの本の販売も行いました。
『日本が世界を救う』
燦葉出版

2015年NPT再検討会議に向けて

2010年再検討会議の成果

- ・全会一致で最終文書採択
- ・核保有国の進捗状況報告を決定
- ・初めて「核兵器禁止条約」に言及
- ・「核兵器の非人道性」についてすべての加盟国が合意

原点はヒロシマ・ナガサキ

被爆者が語る壮絶な被爆体験と平和への訴えが世界的な反核・平和運動の原点。被爆者の思いを継承し、語りつがねばならない。



日本生協連
組合員活動部
山田浩史さん

2015年NPT再検討会議でめざすこと
核軍縮・核不拡散における具体的な道筋や実効性のある措置が盛り込まれた合意文書が採択されること。

核不拡散条約 (NPT)

核保有国が増えることを防止する条約で、5年に1度、守られているかをチェックしている。

平和首長会議

「核兵器のない世界」をめざす世界各国の都市で構成されたNGO団体で、国内加盟率は87%。
2020年までに全ての核兵器廃絶をなくすビジョンを掲げる。

生協の役割 → 世論の形成

2015年NPT再検討会議に向けての取組み

- ◇学び、語りつく活動をすすめる
- ◇ニューヨークへ代表団を派遣する。
- ◇日本被団協の活動を支援するための募金に取り組む。
- ◇「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名活動。
- ◇全自治体が平和首長会議に加盟することを要請。
- ◇被爆者団体やNGO・NPOなどとのネットワークを強める。

NPT再検討会議までの行動が大切
核兵器廃絶への機運を高めていこう！！

一人ひとりにできることを考えよう！

署名の目標は
80万筆

会場で募金と署名を呼びかけ、4,420円の募金が寄せられました。

アンケートより

(40枚提出)

講演を聞いての感想

- ・日本の外から日本を見ているお話を聞くことができ目が覚めた思いです。民間人の意識を高めることの重要性を改めて感じ、自分でできることをしていきたいと強く思いました。
- ・核兵器に関する国際的な状況が理解でき、大変勉強になりました。日本という国の一員として、もっと学び発信していかななくてはならないと思いました。
- ・まずは何としても核兵器廃絶が最大の課題であることよくわかりました。核が人類を滅ぼす。このことをたくさんの人に伝えていくこと、繰り返しが大切だと改めて思いました。

核兵器のない世界を

めざしてできることへの思いや意見

- ・アジアの国々ともっと交流して(草の根レベルで)、一部の人たちだけに任せておくことは危険だと考えさせられました。
- ・条約が締結されなければ世論を説得する力に欠けるという話に納得。署名をたくさん集めて条約を可決させ実効させようという気持ちを強く持ちました。草の根の一市民・一組合員も力を行使できるのだと実感。

*署名や募金、伝えること等、具体的に挙げた方が多かったです。